

お知らせ

INFORMATION



No.2016-10

2016年4月

病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆M2BPGi (Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体) [16767]

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2016年5月9日（月）より

【新規項目情報】

項目名称	M2BPGi (Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)												
コード	16767												
検体材料	血清 0.3mL												
保 存	冷蔵												
採取容器	No1 → No5												
検査方法	CLEIA												
基準値	判定：(－) カットオフ INDEX：1.00 未満												
判定基準	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">判定</th><th>カットオフ INDEX</th></tr> <tr> <td>陰性</td><td>(－)</td><td>1.00 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="2">陽性</td><td>(1+)</td><td>1.00～2.99</td></tr> <tr> <td>(2+)</td><td>3.00 以上</td></tr> </table>		判定		カットオフ INDEX	陰性	(－)	1.00 未満	陽性	(1+)	1.00～2.99	(2+)	3.00 以上
判定		カットオフ INDEX											
陰性	(－)	1.00 未満											
陽性	(1+)	1.00～2.99											
	(2+)	3.00 以上											
所要日数	3～7 日												
実施料 (区分)	200 点 *1,2 (D215-2 肝硬度測定)												
備 考	<p>*1、慢性肝炎または肝硬変の患者（疑われる患者を含む）に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定できます。</p> <p>*2、M2BPGi と P-Ⅲ-P、Ⅳ型コラーゲン、Ⅳ型コラーゲン 7S、ヒアルロン酸または、プロリルヒドロキシラーゼ（PH）を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できます。</p>												

M2BPGi (Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体) は平成 27 年 1 月に新規保険収載された肝線維化マーカーです。肝線維化が進行すると M2BP のタンパク質部分自体は変化しませんが、糖鎖構造部分が変化するという性質があります。M2BPGi は肝線維化の進行と高い相関性を持ち、変化した糖鎖のみに反応するレクチンを用い、糖鎖に変化が生じ産生された異常糖タンパク質を迅速かつ特異的に検出するものです。M2BPGi は肝線維化の進展度を反映し、ステージの上昇により高値になるとされています。

肝癌は日本において癌死の第 3 位を占めますが、M2BPGi は肝硬変から肝癌への発症予測や肝癌切除術後生存の術前予測にも有用であるという発表もされています。

以上